

☆公害による健康被害を許すな!

☆自然環境・生活環境の破壊を許すな!



モズ 画:橋本正弘

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

大阪市此花区西九条1丁目4-9
高田ビル 〒554-0012

TEL 06-6463-8003

FAX 06-6463-8202

oskougai@coast.ocn.ne.jp

発行責任者 芹沢 芳郎

年間購読料一部2,000円(送料共)

郵便振替 00910-7-300387

第15回 環境学校 in 飛鳥開かれる

8月29日から30日、日本の古都飛鳥をはじめ神祕の世界を感じさせる山間の静かな村、飛鳥「国営飛鳥歴史公園祝戸地区」で今回の環境学校が開催されました。

また、この日は戦後初めて政権が変わる総選挙投票日となり、少し参加者も少ない中でしたが、藤永のぶよ校長の開校あいさつから始まった学校は、第1講義、日本野鳥の会大阪支部副会長の橋本正弘氏から「温暖



化と野鳥・鳥インフル最前線」第2講義は高速道路から世界遺産・平城京を守る会事務局長の小井修一氏から「世界遺産と高速道路」と題して1日目の講演とし、2日目は早朝からのバードウォッチングを橋本氏の案内で行い、朝食を済ませみなさん

環境学校に参加して

「温暖化と野鳥・鳥インフル最前線」を聞いて

日本野鳥の会大阪支部副会長の橋本正弘さんのお話は「温暖化と野鳥・鳥インフル最前線」でした。スズメとミツバチが減り、シギやチドリは激減していること、オセルタミフルを日本がほぼ独り占めしていること、



野鳥の会の研究拠点もあるスウェーデン・ウーランドの灯台

が楽しみにしておられた歴史探訪「飛鳥の歴史を訪ねて」を行いました。

歴史探訪、案内は観光ボランティアガイドの廣田仁吉さん82歳、元気で年齢を感じさせないおじさまの案内で、石舞台から飛鳥寺途中バスの中から飛鳥京を眺めながらの説明、飛鳥寺では大仏を眺め飛鳥寺と大仏の由来を聞きながら太古の昔にタイ

そして野鳥はインフルを運ばないことなど、初めて耳にする話でした。

また、大阪府の鳥獣保護委員として、飼つてはいけない鳥(メジロなど)の鑑定の話や、猟銃免許交付の立ち会いなど、幅広い活動内容が興味深い。

鳥が取り持つ縁で招待されたというスウェーデンのスライド

もきれいでした。第2次世界大戦に参戦しなかった(ナチを通したことはある)歴史を感じさせる、緑豊かな環境とゆつたりした暮らしぶりが紹介されました。

翌早朝の探鳥会では、

ムスリップしました。最後は高松塚古墳・壁画館へ、古く千年以上の時代にきれいな色彩と衣装に感心させられ、現在までそのままの姿でのこす昔の技術にも感心させられました。お昼までの短時間で、沢山の歴史が眠る飛鳥のすべてを見ることはできませんでしたが、バスの中から案内された、いくつかの遺跡をもう一度訪ねてみるのもいいかなと思いました。

(事務局 八嶋)

広がる棚田に点在する瓦屋根の家、飛び交うチョウやトンボ、歩くたびにカエルやバッタが驚いて跳ねる：なんと美しい日本の風景。景観を重視した規制が、功を奏していると感じました。

(赤司真智子)

「世界遺産と高速道路」を聞いて

民主党大勝、自民党大惨敗という新聞の見出しを見る前に本年の環境学校の日程は決まっています。29日に小井氏の話聞いた。高速道路というものは最初は都市間の物流運搬の手段であって都市内には要らないと思っていたものである。ところが近頃

(次頁4段目につづく)